

あかれんが vol.3

Yokohama Chuo Hospital AKARENGA

『新春のご挨拶』

今年は激動の国際情勢のなかで年が明けました。国際的には平和が脅かされ、流通・経済面でも世の中は不安要因で溢れています。しかし一方では、4年に一度のスポーツの祭典が開催され、海外で活躍する選手達や応援する我々国民の息遣いが聞こえてきそうです。国内では有史以来の少子高齢化の波が押し寄せ、我々医療人はその真ん中に居ます。私達の病院も医療の立場から、地域で介護・福祉に携わる方々と協働で未曾有の難題に取り組んで行こうと考えています。この地域に暮らす大勢の高齢住民には、これから医療の現場は自宅となっていきます。家庭医の皆様の働きが益々期待されています。私達は、そうした皆様の活躍を手助けできれば幸甚だと考えています。



病院長 藤田 宜是

医療を取り巻く我々の社会は、來たる医療・介護制度の同時改定に向けて高速に進んでいます。今、私達に求められているのは地域包括医療です。私達の病院では、地域完結型の医療体制の一員として「退院後を考慮した急性期医療」を目指しています。退院後は無理なく在宅医療に移行できるような環境づくりを日々進めています。また在宅療養の中断にあっては、早期の適切な対処と共に退院後在宅療養が再開できる環境づくりが快適な老後を過すためには不可欠だと自負しています。

地域完結型の医療体制が潤滑に運営されるためには、医療・介護・福祉に携わる行政・医師会・ケアセンターの担当者を始め、現場のケアマネージャー・ヘルパーの皆様との綿密な連携が最重要項目だと思っています。今年も、昨年に益して目標達成に向けて頑張りますのでご協力を宜しくお願いします。



第13回 JCHO 横浜中央病院地域医療交流会【報告】

前号でご案内いたしました地域医療交流会を平成29年10月30日にワークピア横浜にて開催しました。当日は強風にもかかわらず、約140名のご参加をいただきました。

第一部の横中セミナーは横浜中央病院の職員により、次の演題で発表を行いました。

- ①「ポータブル装置における散乱線測定」
- ②「輸血用血液製剤の安全性と我々医療機関に求められる安全対策」
- ③「難治性心不全に対する多職種介入心不全チーム医療における管理栄養士の役割」
- ④「急性期病棟における終末期ケアのための連携～退院調整と多職種連携で患者・家族の思いをかなえることができた一事例～」
- ⑤「病院内外の多職種連携を考える～地域合同勉強会による参加者の意識の変化～」
- ⑥「地域包括ケア病棟における退院支援の現状～退院後訪問を通しての学び～」

第二部では、横浜市中区医師会長の秋山修一先生にご挨拶をいただき、シンポジウムでは当院地域ケアサービスセンター長の大岩副院長を座長に、「医療と介護の連携」をテーマに、

横浜市健康福祉局 高齢健康福祉部 松本 均 部長

横浜市中区医師会（石川クリニック院長）石川 雅健 先生

社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会 根本 秀一 事務局長

当院地域ケアサービスセンター医療福祉相談室 佐野 晴美 室長

の演者の皆様による発表とディスカッションが行われました。



横浜市健康福祉局
高齢健康福祉部
松本 均 部長



横浜市中区医師会
石川 雅健 先生



社会福祉法人
横浜市中区社会福祉協議会
根本 秀一 事務局長



医療福祉相談室
佐野 晴美 室長





認知症サポーター養成講座



平成29年度は、認知症サポーター養成講座を2回開催いたしました。

合計107名（院外28名）の方々に参加していただき、認知症及びその人と家族の思いについて学習しました。第2回は、「新山下地域ケアプラザ」キャラバンメイトの皆さんに寸劇を演じていただき、参加者みんなで対応の仕方を話し合いました。

病院と地域が連携した、一つの活動になったと思います。今後も開催する予定ですので、地域の方々の参加をお待ちしています。

今回、サポーターになられた皆様、優しいまなざしで地域の見守りをおねがいいたします。



«私達地域ケアサービスセンター常駐の通訳です»

Chinese & English

Hello



您好



当院地域ケアサービスセンターには現在中国語の通訳4人（うち一人産休中）と英語通訳1人が常駐しています。

立地的なこともあります、中国語の通訳のニーズは日に日に増大し、今ではひと月の通訳件数は500件にも上ります。総合受付から検査、診療、入院まで多岐に渡り、中国人の患者様のサポートをしております。また、英語通訳も同様に、英語圏の様々な外国人の方にも安心して受診して頂けるよう対応しております。

右上に中国大陆地图をのせてみました。赤い星印が当院中国語スタッフの出身地のあたりなんだそうです。彼女たちの出身は中国の西安（陝西省）大連（遼寧省）沈陽（遼寧省）敦化（吉林省）というところです。患者様のなかで、出身が同じだったり、近かったりすると、とても親近感が湧いてより安心するというお話を聞いたことがあります。

異国の土地で病気になる不安と言葉が通じない不安は患者様にとってさらなるストレスが生まれます。

外国人の方も安心して受診していただけるよう、これからもスタッフ一同力を合わせてまいりたいと思っていますので、宜しくお願い致します。

内科・小児科

かめのはしクリニック

院長 川越 理香

患者様一人一人とじっくり向き合う医療に取り組みたいと考え、生まれ育った横浜に開業いたしました。

中華街・元町等の観光地と商業地、住宅地といろいろな面を持つ中区で、前医である石川医院の鈴木先生にクリニックをおゆずりいただき、赤ちゃんからご高齢の患者様まで幅広く対応、通院のできない在宅療養の患者様には訪問診療をおこなっています。

地域密着のクリニックとして、他専門のクリニックや病院、地域の各施設とも連携を密に、患者様のニーズにおこたえできるクリニックを目指しています。

診療時間のご案内

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
AM 9:00 - PM 1:00	○	○	/	○	○	○	/
PM 3:00 - PM 6:00	○	○	/	○	○	/	/

*受付は、診察時間終了30分前までにお願いいたします。

*当院では駐車場2台をご用意いたしております。どうぞご利用ください。



かめのはしクリニック

Tel. 0231-0868 横浜市中区石川町 3-108-1
TEL. 045-226-2818 FAX. 045-226-2858

「新規登録医ご紹介」

下記の医院、クリニック様に新たに当院の登録医になっていただきました。

No.	登録医 医科
143	新横浜ハートクリニック

No.	登録医 歯科
83	慧仁会 ふるた歯科
84	はまの歯科医院
85	元町中華街歯科クリニック



登録医証見本

「登録医のメリット」

- ① 横浜中央病院 登録医の称号をご使用いただけます
- ② 診療予約等の優先診療が可能となります
- ③ 優先的に逆紹介いたします
- ④ 医療機器共同利用 (CT・MRI・上部消化管内視鏡検査)
- ⑤ 当院ホームページ等にて登録医としてご紹介いたします
- ⑥ 当院で開催される学術集会へのご参加ができます
- ⑦ 定期的にお知らせをお送りします
- ⑧ 紹介患者様の情報を閲覧頂けます
※事前に紹介患者様の了承が必要です
- ⑨ 紹介状様式をお届けいたします
- ⑩ 紹介患者様は原則として紹介元に
逆紹介いたします



おわりに…

今年は冬季オリンピック開催の年ですが、2年後には東京オリンピックが開催されます。この横浜でも競技が開催予定ですので、国際都市横浜らしい対応が求められます。当然医療需要も国際的になるわけで、当院では今号掲載の記事のように、言語のサポートを通じて患者様の多様なニーズに応えられるように努力しております。今後もこの地域の国際化の一端を担っていかなければと考えています。

広報委員会委員長 地域ケアサービスセンター長 副院長 大岩功治



独立行政法人 地域医療機能推進機構
Japan Community Health care Organization
JCHO (ジェイコー)
横浜中央病院
Yokohama Chuo Hospital

Tel. 0231-8553 横浜市中区山下町268番地
TEL : 045-681-9534 (地域連携室直通)
FAX : 045-681-9542
E-mail : chiikirenkei@yokohama.jcho.go.jp
URL : http://yokohama.jcho.go.jp

